

中部大学 2020 年度一般推薦試験 (2019.11.19 実施)

小論文問題 制限時間 60 分 字数制限 800 字

【工 学 部】

文明社会の持続的発展が求められ、AI の活用や IT 化が進行する状況の中、あなたは希望する工学分野において何をどのように学び、何を得たいのか、また、そのためにどのような具体的な取り組みを行うのかについて論述せよ。

【経営情報学部】

産業革命以来、人間は石油や石炭などの化石燃料を燃やしてエネルギーを取り出し、経済を成長させてきた。その結果、大気中の CO₂ 濃度は、産業革命前に比べて 40% も増加した。それに伴って世界平均地上気温は、1880 年から 2012 年の期間に 0.85℃ 上昇し、様々な環境問題が発生してきている。近年、異常気象による未曾有の自然災害が世界各地で発生し、甚大な被害が発生している。経済発展のためのエネルギー消費とそれから派生する異常気象等による災害のリスクを考えて、これからどういいう経済成長をしていけばよいか、あなたの考えを述べなさい。

【国際関係学部】

国際連合の SDGs (持続可能な開発目標) は 16 の目標を掲げているが、その中に「貧困」と「平和」が含まれている。そのうちのどちらか (両方でもよい) を選び、自分が知る事例をあげて、そこにはどのような要因 (たとえば政治・経済・文化・宗教) が関係しているかを考え、その解決のためにはどのような方法が可能かを述べなさい。

【人文学部】

2019 年 11 月 4 日、アメリカのトランプ政権は、地球温暖化対策の国際的な枠組みである「パリ協定 (Paris Agreement)」からの離脱を国連に正式に通告しました。パリ協定は、2015 年にパリで開かれた温室効果ガス削減に関する取り決めを話し合う国連の会議「COP21 (Conference de Paris de 2015 sur le climat : 第 21 回気候変動枠組条約締約国会議)」で合意された国際的な枠組で、世界中の主要各国と地域が締結しました。協定は、世界の温室効果ガスの排出量を 2050 年以降、今世紀後半に実質的にゼロにすることを目標に、各国が削減目標を設定して対策を進めることを義務としています。今回のトランプ大統領の決断は、「パリ協定は過度な規制でアメリカの企業を倒産に追い込んでいるのに、ほかの国の環境汚染は許している」と主張してきたこれまでの姿勢を具体化したものと言えます。あなたは、アメリカのパリ協定からの離脱について、どのように考えますか。理由を示しながらあなたの立場を論じてください。

【応用生物学部】

応用生物学部では、「生命」、「環境」、「食」にかかわる分野で活躍できる「あてになる人間」の育成をめざしています。これら三つの分野から、あなたがもっとも興味を持っている分野における課題を一つあげて、課題における問題点を説明し、課題を解決するためのアイデアを考えて課題解決へのストーリー (すじ道) とそのアイデアがすぐれている理由を書いて下さい。

【生命健康科学部】

自転車 (二輪車) は日本社会の中で大いに利用されている。自転車がヒトの健康に及ぼす影響につ

いて、その功罪の観点から論じなさい。

【現代教育学部】

授業中に立ち歩く、先生の話聞くことができないなど、小学校入学当初から、学校生活に適應できない子どもがいる。学校適應上のこうした問題を改善するために、幼稚園・保育所など小学校入学前、そして、小学校入学直後のそれぞれの時期に、どのような指導や支援が必要だと考えるか。また、幼稚園・保育所などと小学校の間で、どのような協力を行うことが大切なのかを、論述しなさい。